

総合型地域スポーツクラブ (仮称)滑川ファミリースポーツクラブ プレ事業・「スポーツ講演会」を開催します。

開催の目的

子ども達が、あるスポーツに興味・関心を持った時に、どんなスポーツであれ「もうやりたくない…」ではなく、「もっとやってみたい!」「やっていて楽しい!」と思わせることが最重要課題であります。そして、その大きな要素の一つとして指導者のコミュニケーション能力が必要不可欠となってきます。これは、スポーツの世界に限ったことではなく、子育てや家庭でのしつけ、家庭教育の一層の充実化、地域教育力の回復を図ろうとする場面における私たちみんなの共通する考え方ではないでしょうか。「やる気」を起こさせる基本的なコミュニケーションづくりの大切さを、幅広く地域の皆さん方と考える機会にしたいと、下記に企画いたしました。

— 記 —

日 時 : 平成18年2月18日(土) 13時30分~15時30分まで

会 場 : 滑川公民館大会議室

演 題 : 「やる気をおこさせるコミュニケーション方法」

講 師 : 清水 隆一

(国際コーチ連盟プロフェッショナルコーチ)

参加料 : 無 料

申し込み・問い合わせ : 土田宏 電話 (22) 0938

(仮)滑川ファミリースポーツクラブ事務局

【講師紹介】



清水 隆一 (しみず りゅういち)

1959年9月1日生まれ、東京都墨田区出身。

早稲田実業学校硬式野球部主将として1977年の春・夏甲子園ベスト8。

早稲田大学卒業後、(株)熊谷組入社。

1984年には日本対キューバ国際野球大会に全日本選手として出場。

1986年社会人野球ベストナイン受賞。

1992年1月(株)熊谷組野球部監督就任、同年夏の都市対抗野球大会準優勝。

翌年、都市対抗野球大会ベスト8の成績を収めたが、同年12月野球部休部。

2001年6月花咲徳栄高校野球部総監督就任、同年夏の甲子園大会に初出場。

現在、(財)日本オリンピック委員会強化スタッフ(コーチング)および(財)日本野球連盟競技力向上委員会委員。

著書には「ベースボール基本の「き」」(ベースボールマガジン社)がある。

●選手の潜在能力を引き出すマネジメント

マネジメントの基本は「個人のいいところだけをピックアップして、伸ばして行く」ことです。これは「人は押さえつけなければ色々なことをする。その中からいいところだけをピックアップしていけば潜在能力を発揮させる可能性が高くなる」という心理学の理論に基づく考え方です。つまり、一方的な指示命令型のマネジメントでは、創造的な意見や積極的な行動は起こり得ないということです。

そこで、質問提案型(コーチング型)のマネジメントにより、個々人の意見を否定せずに聞き、「経過」を「誉める」ことで、個々人の行動を「能動的」にする。そのことで、組織が活性化され、組織目標を達成可能にするのです。

(株)熊谷組野球部を半年で全国大会準優勝に導いた時、19年間甲子園に行けなかった高校を2ヶ月で甲子園初出場に導いた時の考え方は以下のとおりです。

- ① 選手一人一人を「have to」から「want to」の発想に変えていくため、「結果管理」から「経過管理」に、「怒る」から「誉める」に、「受動的」から「能動的」にする。
- ② 選手一人一人の話を良く聞き、いいところだけをピックアップし、伸ばして行くマネジメントに徹する。
- ③ 監督・コーチ・選手間で、シンプルかつ明確な基本技術の共通認識を持ち、基本以外は選手の創意工夫に任せる。

どうぞ 皆さんお誘いあわせの上、ご参加ください。